

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成29年3月9日(2017.3.9)

【公開番号】特開2016-119498(P2016-119498A)

【公開日】平成28年6月30日(2016.6.30)

【年通号数】公開・登録公報2016-039

【出願番号】特願2014-256169(P2014-256169)

【国際特許分類】

H 04 B 7/10 (2006.01)

【F I】

H 04 B 7/10 B

【手続補正書】

【提出日】平成29年1月31日(2017.1.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0034

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0034】

第一の送信乗算器5の出力の第二の分岐は更に二分岐され、ひとつの分岐は第二の送信搬送波周波数発生回路56の出力(周波数： f_2 (< f_1 または f_1))と第七の送信乗算器51により掛け合わされてその結果が送信加算器15の第二の入力となり、他方の分岐には第二の送信搬送波周波数発生回路56の出力が90度移相器59を介して第八の送信乗算器52により掛け合わされてその結果が送信減算器55の第二の入力となる。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0051

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0051】

ハイブリッド回路69の第一の出力は第一の送信アンテナ1と結合し、ハイブリッド回路69の第二の出力は、第一の送信アンテナ1と空間的に直交する第二の送信アンテナ2と結合する。第一および第二の送信アンテナ1, 2は、二つの搬送波周波数(f_1 , f_2)の差の半分の周波数で回転する偏波を有する電磁波を空間に放射する。なお、偏波の実効的な搬送周波数(f_c)は、二つの搬送波周波数(f_1 , f_2)の和の半分の周波数である。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0065

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0065】

なお、本実施例8においては、図8に示すように、アンテナ(1, 2)、加算器74、および減算器83を除く回路部分が、FPGA(Field Programmable Gate Array)に実装されているが、実装形態はこれに限るものではない。